

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

1. 協働事業の概要

事業名称		竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業
事業の実 施者	実施団体名	NPO法人 エコネットちば
	所管部署	都市整備課
事業の趣旨・内容		竹袋調整池と周辺地域の水辺環境を、年間通して維持管理して、訪れる人たちに心と癒しと憩いの場を提供するとともに、地域住民のコミュニケーションの拠点をつくる。 ① 定期的(7回/年)に草刈を実施して、景観を維持する。 ② 季節の花を植え、年間通して花畑をつくる。 ③ 随時清掃して、清潔な環境を維持する。
実施期間		平成27年4月2日～平成28年3月31日

2. 事業の評価

(協働事業審査開始前)	設問	エコネットちば				印西市			
	Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	1. 実施した 2. しなかった				1. 実施した 2. しなかった			
	Q1で実施したと回答した場合 相談や協議は何回行いましたか。	2 回				回			
	相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q2 不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。		○				○		
(2次審査後、3次審査前)	Q3 第2次審査終了後から第3次審査までに申請者と関係各課との間で何回協議を行いましたか。	1 回				回			
	Q4 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	1. した 2. しなかった				1. した 2. しなかった			
	Q5 パートナーシップの考え方や協働事業の取り組み方等を双方で確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q6 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q7 協議は対等・協力的に行えましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q8 共有すべき課題について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q9 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	Q10 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。								

	設問	エコネットちば				印西市			
協働事業実施中	Q11 打ち合わせ(協議)を何回行いましたか。	1 回				回			
	Q12 事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	1. 行った 2. 行えなかった				1. 行った 2. 行えなかった			
	Q12で行ったと回答した場合 報告や現地確認は何回行いました	報告 1 回 現地確認 1 回				報告 回 現地確認 回			
	Q13 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○				○		
	Q14 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○				○		
Q15 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	1. 残した 2. 残さなかった				1. 残した 2. 残さなかった				
不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。									
協働事業実施後	Q16 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○				○		
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。								
	Q17 役割や責任分担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない				1. 適切 2. 適切でない			
	適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。								
	Q18 資金負担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない				1. 適切 2. 適切でない			
	適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。								
	Q19 課題の克服やニーズに応えることはできましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○				○		
	不十分と回答した場合はその理由を記入してください。								
	Q20 当初設定した成果目標は達成できましたか。	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
			○				○		
不十分と回答した場合はその理由を記入してください。									
Q21 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。	1. 思う 2. 思わない				1. 思う 2. 思わない				
効果がなかったと思えない場合はその理由を記入してください。									

設問	エコネットちば	印西市
自由意見欄 協働事業を実施して感じたことやご意見などがありましたら記入をお願いします。	・企画提案型協働事業も7年目になり、新たな試みとして、①コスモスを年2回咲かせることに挑戦、ハスとコスモスの同時鑑賞を楽しむアイデア。・従来の花畑と池周回遊歩道沿いに、4月種蒔き6月開花、8月種蒔き10月開花予定。・結果としては、春蒔きは成長が早い日照時間が長いため、咲くには咲いたが花付きが思わしくなく期待はずれだった。②菜の花で春には黄色い絨毯を楽しむに挑戦。・11月コスモス刈り取り跡に種蒔き、3月開花予定。・結果は良好、期待通りに菜の花の黄色い絨毯ができた。訪れた方々から「きれい！素晴らしい！毎年咲かせて！」の声をいただいた。R356を通過する車両の皆さんにも十分に楽しんでいただけたことを自負。次年度はさらに工夫して実施したい。10月には恒例の「コスモスふれあいまつり」実施、今年は参加者自身にテント等の設置をお願いする自主参加方式を取り入れ、まさに手作りの祭りを実施。地域コミュニケーションの拠点としてひょうたん島池広場の利用をみんなで考えていきたい。	・協働事業者の貢献により、季節ごとのイベントが定期的に行われ、定着しているため地域住民はもとより、多くの方々のコミュニケーション拠点の場として成長している。 今後の懸念材料としては、協働事業者会員の高齢化がありますので、後継者の育成にも積極的に取り組んでいただきたい。

市民活動推進課・総括

当提案は、平成20年度(事業実施の初年度は平成21年度)の提案以来、7年目の企画実施となります。事業エリアは市所有の調整池で、協働事業により池周辺の花畑や池の中が管理され、季節ごとにさまざまな草花が楽しめるよう整備されています。また、地元町内会等と連携してまつりを開催するなど、地域コミュニティの場としても活用されています。提案者の管理は細部にわたっており、花畑の整備や清掃等に加え、桜の剪定や調整池内の水生植物の除去など、年々提案者側の作業項目は増えている状況です。一方、市でも調整池の浄化作業を独自に実施しております。

提案者は今後も維持管理を継続していく意向で、イベント実施などについても積極的に行っていく考えです。協働担当課としても提案者に管理を継続してほしいと考えております。

本事業は、提案者が継続的に事業に取り組む中でその意義を高めてきた協働の取り組みとして、大きな成果を挙げているものと思われます。